

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル東工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>【参考図 工事工程表 9/17】 平均月進について、CⅡ-b-(H)-2-B, CⅡ-B-L(H), DⅠ-a(H)-2-B, DⅢa(H)-2-B, DⅢa(H)-3-B, の月進について、60、49、57、54、29m/月と公表していただきましたが、当方では、62、51、59、46、30m/月とサイクルが一致しません。 提示されているサイクルタイムで間違いはないでしょうか。</p>	公告図書のとおりです。
2	<p>【参考図 工事工程表 9/17】 DⅢa(H)-3-B (坑外) とDⅢa(H)-3-B のサイクルが異なりますが、坑外からもAGFを打設するので、同じサイクルではないでしょうか。</p>	坑外打設のAGFは、トンネル掘削開始の事前に明かり部から施工することを想定しており、トンネル掘削の補助工法としてのサイクルタイムは考慮しておりません。
3	<p>【特記仕様書 P11 工事用道路の指定、割掛対象表 有料道路料金費】 ⑦新得工事用道路が工事の進捗に伴い通行不可になった際に、⑧工事用進入路より土運搬を行うとありますが、客土掘削や捨土掘削、構造物掘削の掘削土の運搬を予定されていますか。 予定されていれば、高速道路を使用した、掘削土の運搬量を指定していただけないでしょうか。 又、割掛の有料道路料金費には、土運搬のダンプの高速料金も含まれるのでしょうか。 含まれるとしたら、何台分を想定されていますか。</p>	⑧工事用進入路を使用した掘削土の運搬は坑門工の埋戻しで必要となります。 関係する公告図書を後日訂正いたします。

番号	質問事項	回答
4	<p>【2024-09-10 質問回答 36】            セントル型わく 419.4m<sup>2</sup>と回答していただけていますが、設計図のセントルの型わく周長、10.283mと型わくの延長、34.9mをかけると359m<sup>2</sup>になります。            419.4m<sup>2</sup>の根拠を示していただけませんか。</p>	<p>本坑との取合部を加えた結果、セントル型わく365.0m<sup>2</sup>、扉部及び箱抜型わく54.2m<sup>2</sup>の合計419.2m<sup>2</sup>が正となります。</p>
5	<p>鉄筋A(T)の数量について、『72.038t』と記載がございますが、これは設計成果品の数量計算書と同数値となっています。            しかし数量計算書を確認しますと、本坑補強鉄筋数量集計表の『DIIIa(H)-2-B』の対象延長は『42m』と『7m』で区分されていますが公告図面の区分に従うと『40.5m』と『8.5m』となります。            また、対象延長『8.5m』の延長については『10.5m当り』の数量となっておりますが正しくは『8.5m当り』の鉄筋数量であり『D19』の単位数量は『2073kg』、『D16』の単位数量は『971kg』ではないでしょうか。            さらに、補強鉄筋数量集計表では箱抜工の補強鉄筋は『D13』が『0.363t』、『D16』が『0.587t』となっておりますが、公告図面から再度積上げますと『D13』は『0.123t』、『D16』は『0.533t』となります。            以上の計算を踏まえますと、補強鉄筋数量は合計『70.191t』となると思われませんが、図面と数量計算書どちらが正しい数値なのでしょうか。</p>	<p>鉄筋材料表をL=8.5m当りに訂正します。            8.5m当りの単位数量は、D19は2073kg、D16は942kgとなります。            また、箱抜工の補強鉄筋の増減数量はD13が0.385t、D16が0.277t、D19が0.256tで鉄筋A(T)の合計数量は71.963tが正となります。</p>
6	<p>トンネル掘削(CII-b-2-B)の数量について、『28324.8m<sup>3</sup>』と記載がございますが、これは設計成果品の数量計算書と同数値となっています。            しかしながら公告図面の加背割図に記載されております『CII-b(H)-2-B』の全断面の支払数量、インバート掘削の設計数量と支払数量が数量計算書と違うため、公告図面を正とした場合のトンネル掘削数量は『28259.9m<sup>3</sup>』となると思われませんが、どちらが正しい数値なのでしょうか。</p>	<p>28,324.8m<sup>3</sup>が正になります。            参考図の加背割図を訂正致します。</p>

番号	質問事項	回答
7	<p>トンネル掘削(D I -a-2-B)の数量について、『12429.2m<sup>3</sup>』と記載がございますが、これは設計成果品の数量計算書と同数値となっています。しかしながら公告図面の加背割図に記載されております『D I -a(H)-2-B』の全断面の設計数量、支払数量、インバート掘削の設計数量と支払数量が数量計算書と違うため、公告図面を正とした場合のトンネル掘削数量は『12282.2m<sup>3</sup>』となると思われませんが、どちらが正しい数値なのでしょうか。</p>	<p>12,429.2m<sup>3</sup>が正になります。参考図の加背割図を訂正致します。</p>
8	<p>ロックボルトA(L=2.0m)の数量について、『241本』と記載がございますが、『C I -B-S』『C I -K-S』『C II -B-S』『C II -K-S』の延長がそれぞれ6.59m、10m、6.722m、10m、1ピッチの延長がそれぞれ1.5m、1.5m、1.2m、1.2m、1ピッチ当り数量がそれぞれ9本ずつであることを踏まえ計算しますと、『225本』となると思われます。また、非常駐車帯増減も『5本』と『6本』が計上されていますが、該当箇所に関わるロックボルトは計上不必要と思われます。数値について今一度ご確認お願い致します。</p>	<p>ロックボルトA (L=2.0m) の数量は225本が正となります。</p>
9	<p>ロックボルトB(L=3.0m)の数量について、『7508本』とあるのですが(設計成果品の数量計算書と同数値)、数量計算書の箱抜増減『42本』は公告図面から算出すると『77本』になると思われます。よって全体の数量も数量計算とは異なり『7532本』になると思われますが、数値について今一度ご確認お願い致します。</p>	<p>ロックボルトB(L=3.0m) の数量は7,508本が正となります。</p>
10	<p>ロックボルトB(L=4.0m)の数量について、『1003本』とあるのですが(設計成果品の数量計算書と同数値)、数量計算書の『D III a(H)-2-B』の箱抜増減『12本』は公告図面から算出すると『25本』、また『D III a(H)-3-B』の箱抜増減『15本』は公告図面から算出すると『50本』になると思われます。よって全体の数量も数量計算とは異なり『1051本』となると思われますが、数値について今一度ご確認お願い致します。</p>	<p>ロックボルトB(L=4.0m)の数量は1,056本が正となります。</p>

番号	質問事項	回答
11	<p>ロックボルトC(L=3.0m)の数量について、『1700本』とあるのですが（設計成果品の数量計算書と同数値）、数量計算書の『DⅠ-a(H)-2-B』の箱抜増減『20本』は公告図面から算出すると『45本』になると思われます。よって全体の数量も数量計算とは異なり『1725本』となると思われますが、数値について今一度ご確認お願い致します。</p>	<p>ロックボルトC(L=3.0m)の数量は1,729本が正となります。</p>
12	<p>ロックボルトC(L=4.0m)の数量について、『651本』とあるのですが（設計成果品の数量計算書と同数値）、数量計算書の『CⅠ-B-L(H)』の1ピッチ当り数量『15本』は公告図面を参照すると『13本』、『CⅡ-B-L(H)』の1ピッチ当り数量『12本』は公告図面を参照すると『15本』であると思われます。また、『CⅡ-B-L(H)』の箱抜増減『2本』は公告図面から算出すると『11本』になると思われます。よって全体の数量も数量計算とは異なり『699本』となると思われますが、数値について今一度ご確認お願い致します。</p>	<p>ロックボルトC(L=4.0m)の数量は694本が正となります。</p>
13	<p>避難連絡坑防護工について、副資材は（4.2t/箇所×2箇所）となっておりますが、H形鋼を含めた数量になっていませんか。1箇所当り数量は正しくは、4.2tからH形鋼の数量0.9tを差し引いた3.3tではないでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
14	<p>構造物掘削 普通部Aについて、『積算上の土質区分は「土砂B」及び「軟岩C」』とありますが、質疑回答⑥-7と、設計図【トンネル】9/88から、「軟岩C」ではなく「土砂F」と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
15	<p>令和6年9月12日掲載済みの質問書に対する回答：番号5について、DⅢa(H)-2-Bの月当り進行長が修正されています。金抜設計書の番号87(汚濁水処理工：汚濁水処理工(運転))から番号89(汚濁水処理工：泥土処理工)および番号92(汚濁水処理工：薬剤A2)から番号95(フリッカ設備工：フリッカ設備工(供用))、番号98(切羽監視員)の数量も修正されると思われます。修正された数量をご教示願います。</p>	<p>月当り進行長の修正に伴い修正が必要となる項目については、公告図書を後日訂正いたします。</p>

番号	質問事項	回答
16	<p>令和6年9月12日掲載済みの質問書に対する回答：番号5について、DⅢa(H)-2-Bの月当り進行長が修正されています。</p> <p>割掛け対象表参考内訳書の項目名称「電力基本料金費」および「ロックボルト長さ検査費」、「火薬庫費」、「工事中道路維持補修費」から「坑内仮排水設備費」、「ダンプトラック運転費」から「給水設備費」、「工事中電力費」、「吹付プラント冬季養生費」、「汚濁水処理設備冬季養生費」、「火薬取扱い費」の数量内訳も修正されると思われます。</p> <p>修正された数量内訳をご教示願います。</p>	<p>月当り進行長の修正に伴い修正が必要となる項目については、公告図書を後日訂正いたします。</p>
17	<p>非常駐車帯CⅡ-B-L(H)のトンネル掘削の分類が「CⅡ-a」か「CⅡ-b」かをご教授ください。</p>	<p>「CⅡ-a」か「CⅡ-b」かの区分はありません。</p>
18	<p>避難連絡坑CⅡ-K-S2及びC1-K-S2の吹付コンクリートの設計厚は25cmと考えて良いですか。</p> <p>設計図では1次吹付5cm、2次吹付20cmの合計25cmが吹付厚と読み取れます。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
19	<p>金抜設計書の番号55：吹付けコンクリート工(吹付コンクリートA5(t=25cm))の余吹厚について</p> <p>設計図および特記仕様書、閲覧(貸与)資料、令和6年度版土木工事積算基準において避難連絡坑(機械掘削)の吹付厚25cmに対応した余吹厚が記載されていないと思われます。</p> <p>余吹厚をご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>